

2026年7月7日

株式会社Hakuhodo DY ONE

Hakuhodo DY ONE、博報堂と共同でAIエージェントが購買を代行する時代を 見据えたエージェンティックコマース領域の統合ソリューション

「Agentic Commerce ONE™」を始動

～AIO（AI最適化）の知見を核に、構想フェーズから広告運用・サイト実装まで一貫して支援～

株式会社Hakuhodo DY ONE（本社：東京都港区、代表取締役社長：北爪宏彰、以下 Hakuhodo DY ONE）は、株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）と共同で、生活者に代わってAIエージェントが情報の検索・比較から決済までを代行する「エージェンティックコマース（Agentic Commerce）」の普及を見据え、博報堂DYグループ内のコマース領域の専門人材やナレッジをシームレスに統合し、戦略策定から実装・運用までをワンストップで支援するソリューションシリーズ「Agentic Commerce ONE™（エージェンティック・コマース・ワン）」を開始いたします。また、第一弾ソリューションとして、企業のビジネス・テクノロジー両面での対応状況を客観的に評価する「エージェンティックコマース診断」を本日より提供いたします。



■背景

生成AIの急速な普及により、生活者の検索・購買行動は「自ら検索し、サイトを巡回する」スタイルから、「AIエージェントに要望を伝え、最適な提案・決済を代行してもらう」スタイルへと変革しつつあります。2026年1月に米国ニューヨークで開催された世界最大級のリテールカンファレンス「NRF'26 Retail's Big Show」においても、エージェンティックコマースが大きく取り上げられました。

このような環境下では、企業は「生活者に選ばれる」だけでなく、「AIに正しく理解され、選ばれる」ためのデータ設計やブランド体験の再構築が不可欠となっています。また、AIエージェントが自律的

に購買判断をおこなうためには、エージェントと各種ECプラットフォームや決済システムを接続する標準プロトコルへの対応が欠かせません。具体的には、AIエージェントと外部データソースをつなぐ「MCP (Model Context Protocol)」や、EC・決済連携を担う「UCP (Universal Commerce Protocol)」 「ACP (Agentic Commerce Protocol)」 「AP2 (Agent Payments Protocol)」 などへの対応が、今後の市場競争優位性を決定づける重要な要素となっています。

Hakuhodo DY ONEでは、2025年3月にAIO (AI最適化) 診断/コンサルティングサービスの提供を開始して以来、生成AI・AIサーチの普及にともなう生活者の購買行動の変化を継続的に調査・分析し、AIO実装支援の知見を積み重ねてきました。こうした取り組みをふまえ、今般、博報堂DYグループが一体となったエンドツーエンドの体制として「Agentic Commerce ONE™」を始動します。

■「Agentic Commerce ONE™」について

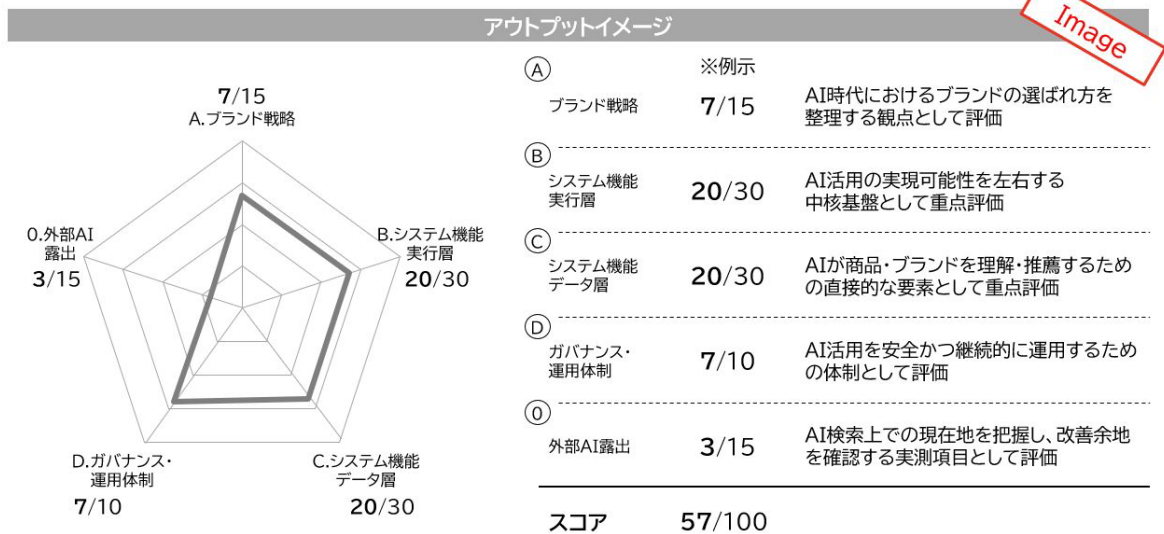
「Agentic Commerce ONE™」は、Hakuhodo DY ONE や博報堂をはじめとする博報堂DYグループが持つ「生活者発想」の構想力と、高度なAI実装力、マーケティング運用力を結集した統合ソリューション群の総称です。単なるAIソリューションの導入にとどまらず、エージェントティックコマースで変わる買物の未来を見据えた戦略から、ブランド体験設計、企業のバリューチェーン全体の変革、AI対応型のオペレーティングモデル設計まで、エンドツーエンドでご支援するワンストップチームを組成します。

<Agentic Commerce ONE™のオフリングメニュー>



■「エージェンティックコマース診断」について

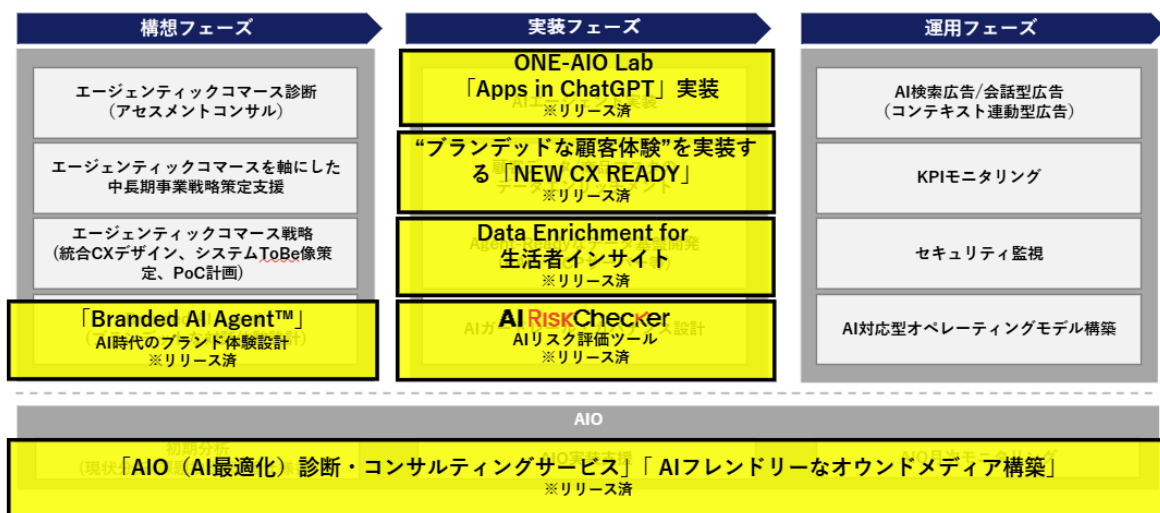
企業の現状を「ビジネス視点 (戦略・組織・プロセス)」と「テクノロジー視点 (データ基盤・AI連携・AI Optimization [AIO])」の2軸でレベル診断し、AI時代に勝ち抜くためのロードマップと具体的な改善アクションを明確化します。



■明日から実践できるエージェンティックコマース対応策

エージェンティックコマースは米国でも実装がはじまったばかりで、今後こういった方式が浸透・定着するかは不透明な部分も多い状況です。企業にとって重要なのは、どの実装パターン・シナリオに移行しても無駄にならない共通項（データ整備・AI最適化（AIO）・コンテンツ構造化など）から着手を進めることです。博報堂DYグループおよび業務提携企業では、現在以下のソリューションを提供しています。

<Agentic Commerce ONE™の既存のソリューション>



- AIO（AI最適化）診断/コンサルティングサービス（株式会社 Hakuhold DY ONE）：
https://www.hakuhold-dy-one.co.jp/news/detail/index.html?id=news-release_202503051695
- ONE-AIO Lab「Apps in ChatGPT」実装（株式会社 Hakuhold DY ONE）：
https://www.hakuhold-dy-one.co.jp/news/detail/index.html?id=news-release_202602125337
- AIフレンドリーなオウンドメディア構築ソリューション（株式会社博報堂アイ・スタジオ）：
<https://www.i-studio.co.jp/news/release/20250617-ai-solution/>

- 「Branded AI Agent™」(株式会社博報堂) :
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/120565/>
- "ブランドドな顧客体験"を実装する「NEW CX READY」(株式会社博報堂) :
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/121790/>
- Data Enrichment for 生活者インサイト (株式会社博報堂) :
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/267204/>
- AI リスク評価ツール「AI Risk Checker」 (Priv Tech 株式会社) :
<https://service.privtech.co.jp/ai-risk-management/ai-risk-checker>

■博報堂 D Y グループのワンストップ支援体制

- 株式会社 Hakuhodo DY ONE
主に AIO (AI 最適化) 診断/コンサルティングサービス・Apps in ChatGPT 実装・エージェンティック広告運用サービスを提供。
- 株式会社博報堂
Agentic Commerce ONE™関連のプロジェクトを統括するとともに、事業戦略・Branded AI Agent™ (CX デザイン)・Data Enrichment for 生活者インサイト (データエンリッチメント)・プラットフォーム連携を提供。
- 株式会社博報堂テクノロジーズ
主に AI エージェント実装・データエンリッチメント・Agent-Ready なデータ基盤開発サービスを提供。
- 株式会社 HAKUHODO ITTENI
主に AI エージェント実装・Agent-Ready なデータ基盤開発・AI ガードレール・ガバナンス設計を提供。
- 株式会社 HAKUHODO BRIDGE
Branded AI Agent™の CX 設計/UIUX から実装サービスを提供。
- 株式会社博報堂マーケティングシステムズ
主に AI エージェント実装サービス・AI エージェント CX 設計/UIUX を提供。
- 株式会社博報堂アイ・スタジオ
主に自社 EC・オウンドサイトのエージェンティックコマースの体験設計および実装を提供。
- 株式会社博報堂プロダクツ
主にエージェンティックコマースに最適化した EC 基盤および構造化データ基盤の構築を担当。

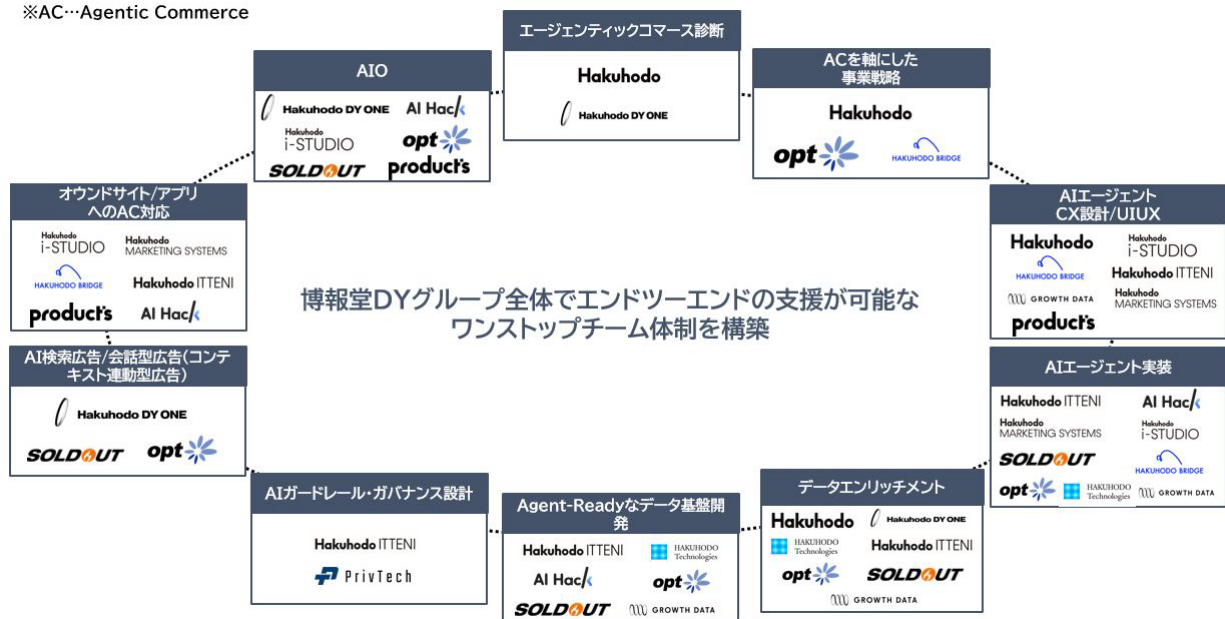
- ソウルドアウト株式会社
主にエージェントック広告運用サービスを提供。

- 株式会社オプト
主にエージェントック広告運用サービスを提供。

※ 業務提携企業

- 株式会社 AI Hack
AIO ツール「AI Hack」の開発/提供・Apps in ChatGPT やエージェントック Web/コマースの実装サービス等を提供。
- Priv Tech 株式会社
AI リスク評価ツール「AI Risk Checker」の開発/提供・AI ガードレール・ガバナンス設計、AI セキュリティソリューション等を提供。

※AC…Agentic Commerce



■今後の展望

Hakuhodo DY ONE と博報堂は今後も博報堂 D Y グループの横断的な AI 専門家集団 HCAI Professionals の活動として、「Agentic Commerce ONE™」のソリューションラインナップを順次拡充し、企業の次世代コマース戦略をエンドツーエンドで支援してまいります。

以上

<会社概要>

■株式会社Hakuhodo DY ONE <https://www.hakuhodody-one.co.jp>

Hakuhodo DY ONEは、インターネット広告黎明期より培ったデジタル広告の知見とノウハウを活かし、統合的なデジタルマーケティングサービスを提供しています。マーケティング戦略立案力、クリエイティビティ、高度な運用力と技術開発力、媒体社・プラットフォームとの強固な関係性を強みとし、国内外のクライアント企業に対して、デジタル起点でのマーケティング戦略やテクノロジー活用を包括的に支援します。

博報堂DYグループの「デジタルコア」として、グループ内のナレッジやリソースを集約し、高い専門性と提案力を併せ持つ企業として業界随一のデジタルマーケティング事業会社となることを目指します。

クライアント企業にとって唯一の「ONE」の存在となるため常に挑戦・前進し、事業成長を支援するビジネスパートナーとして伴走することで、クライアント企業の持続的な成長と、企業価値向上に貢献してまいります。

本社所在地：〒107-6316 東京都港区赤坂5丁目3-1 赤坂Bizタワー

代表者：代表取締役社長 北爪宏彰

株主：博報堂DYグループ100%

社員数：3,290名（2026年4月1日時点）

創立：2024年4月1日

事業内容：デジタルマーケティング全般にまつわる企画・コンサルティング・代行事業・投資事業

【本件についてのお問い合わせ】

株式会社Hakuhodo DY ONE

広報担当 E-mail：info-pr@hakuhodody-one.co.jp